

■全国都市緑化かわさきフェア基本計画懇談会における意見概要と対応

[意見分類 凡例]

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1.市の特性（緑の特徴、まちの魅力・強み等）に関して 3.各種のまちづくりとの連携、波及、一体的な推進に関して 5.会場計画（会場づくりのポイント、会場イメージ等）に関して 7.広報宣伝（情報発信・共有や関心を高める取組等）に関して 9.会場運営、交通輸送等に関して 11.その他の具体的な取組に関して（都市農業、都市緑化、水辺活用等）
（緑の環境整備-グリーンインフラに関して） | <ul style="list-style-type: none"> 2.フェアのあり方（目指すべき視点、取組のポイント等）に関して 4.様々な主体の参画・協働・連携（推進体制、参画の仕組み等）に関して 6.地区・エリアの整備の方向性やポイントに関して 8.出展展示、植物調達等に関して 10.行催事、飲食・物販等に関して |
|---|--|

懇談会	意見分類	委員	議事録頁	意見概要	基本計画骨子（案）概要版の対応する項目	反映の方向性等
1	2	涌井	3	2期開催とすることの意味付けが必要。市民が共感する川崎のポリシーやメッセージを含ませること。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画（骨子）> 2 基本的事項> 3 開催期間	開催期間の考え方については、各区の地域資源を活かした取組を全市的に展開していくため、各地域の木や花の見頃などを踏まえた設定としております。今後、フェアにおける取組を具体化する中で、2期開催の意味を市民の皆様に分かりやすくお伝えしてまいります。
2	2	涌井	3	川崎市内のランドスケープの多様性(里山、大都市、工業地等)をメリットと捉え、どう繋いでいくかが非常に重要。各地域の特色を活かすとともに相互に補完する社会を作ること。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画（骨子）> 3 会場構成等	かわさきフェアでは、多摩丘陵、多摩川崖線、多摩川、二ヶ領用水といった本市の特徴である自然資源により形成されるネイチャーコリドーを活かして、各地域の特色ある取組を相互に連携させ、市内全体で一体感を創出し、そのつながりがフェア後にも継続するような取組を展開していきたいと考えております。

懇談会	意見分類	委員	議事録頁	意見概要	基本計画骨子(案)概要版の対応する項目	反映の方向性等	
3	2	1	涌井	3	川崎らしい先端技術としてバーチャルを活用した 繋ぎ方・繋がり方が実現できるとよい。人と場 所と活動とが繋がって化学反応が生まれれば、 緑化フェアに意味が出てくる。	第3章 かわさきフェア 行催事等 計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進	かわさきフェアでは、これまでの市 民協働の取組を大切にしながら、川崎 の強みであるICTなどの先進技術を効 果的に活用し、フェアを契機として、 市民、企業、地域団体等の新たなつな がりを生み出し、フェア開催以降につ ながる持続可能な協働の仕組みを構築 していきたいと考えております。
4	2	4	反町	4	川崎が好きで常に街のことを考えている人はたく さんおり、そうした人々をしっかり巻き込むこ とが重要。	第3章 かわさきフェア 行催事等 計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進	かわさきフェアをきっかけに、各地 域で活躍されている市民、企業、団体 等の方々にスポットをあて、みどりを 通して、そうした方々の取組を発信す るとともに、新しいつながりを生み出 す取組を展開していきたいと考えてお ります。
5	2	1	反町	5	音楽のまち、映像のまち、スポーツのまちなどの 川崎の魅力や強みを取り入れて、PRやイベント に活用できるとよい。	第3章 かわさきフェア 行催事等 計画(骨子) > 4 事業計画 > (5) 広報宣伝	フェア開催に向けて、御提案いただ いたような本市の特色ある取組と連携 しながら、様々な分野に幅広く浸透さ せ、川崎ならではの多様性と先進性あ ふれる市民総参加型のフェアを目指し て積極的にPRしていきたいと考えてお ります。

懇談会	意見分類	委員	議事録頁	意見概要	基本計画骨子(案) 概要版の対応する項目	反映の方向性等	
6	2	4	反町	5	音楽、映像、スポーツ等の強みを取り入れるには、早い段階からこれらの関係者と情報共有して一緒に取り組むことが必要。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 4 事業計画 > (5) 広報宣伝	フェア開催に向けた機運を醸成し、市民総参加型のフェアを目指して、早い段階から、様々な分野の取組と連携するとともに、地域の活動団体等とフェアのコンセプトや将来像を共有し、一緒になって作り上げる体制づくりを進めてまいります。
7	2	5	今井	5	様々な会場で一気に盛り上げるとなると、開催中の運営維持管理などに懸念がある。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 4 事業計画 > (4) 会場運営	かわさきフェアの会場運営管理につきましては、市民、地域の活動団体、NPO、学校、企業等の多様な主体と連携・協働した運営手法を導入し、市内の様々な会場で、地域の特色を活かした主体的な取組を展開していきたいと考えております。
8	2	5	今井	5	フェア後においてもみどりのまちづくりが重要。	第2章 かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりに向けた取組 > 2 取組姿勢・目指すべき将来像	かわさきフェアを契機として、次の100年に向けて、みどりのまちづくりを進めていくため、目指すべき将来像を設定し、市民、企業、地域団体等の多様な主体と共有しながら、フェア開催以降につながる取組を進めてまいりたいと考えております。
9	2	2	和城	6	オール川崎の姿勢はよいが、フェアの基本理念に沿う形でしっかりとコントロールすることが重要。SDGsにあるような共通コードを作った方がよい。	第1章 全国都市緑化かわさきフェア基本構想 > 2 全国都市緑化かわさきフェアについて > (5) 基本的な考え方・コンセプト	今後、かわさきフェアを契機として、様々な分野と連携して取組を進めるにあたって、市制100周年記念事業とも連携しながら、しっかりとコンセプトを共有して、取組を進めてまいります。

懇談会	意見分類	委員	議事録頁	意見概要	基本計画骨子(案) 概要版の対応する項目	反映の方向性等	
10	2	2	池田	6	現状を基準として定量化された目標があるとよりわかりやすい。	第2章 かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりに向けた取組> 2取組姿勢・目指すべき将来像	かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりを進めるにあたっては、目指すべき将来像を市民、企業等のあらゆる主体と共有しながら取組を進めていくことが重要であると考えております。目標の設定については、市民の皆様によりわかりやすく、目標を共有しながら、一緒になって取り組めるよう、具体的な内容を検討していく中で整理してまいります。
11	2	4	池田	6	大学生を巻き込んでほしい。環境や緑化等のテーマに関心がる若者は多いと思う。コロナ禍で衰退した学生活動の継続や、新たな文化の創出に繋がるとよい。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子)> 4事業計画> (1)協働推進	かわさきフェアを契機として、次の100年に向けたみどりのまちづくりを進めていくためには、次世代を担う子どもたちや若者の参加が重要と考えており、学校等と連携して、会場づくりやフェアに向けた取組を通して、川崎ならではのみどりのまちづくりを進めていきたいと考えております。
12	2	4	池田	6	若者を巻き込むには、大学の研究室やサークル、「かわさき若者会議」等の団体にアプローチすると横に広がりやすいと思われる。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子)> 4事業計画> (1)協働推進	かわさきフェアでは、地域で活躍する様々な団体と、コンセプトや目指すべき将来像を共有しながら、地域の特色ある取組を発信するとともに、フェア開催以降につながる取組を進めていきたいと考えております。

懇談会	意見分類	委員	議事録頁	意見概要	基本計画骨子(案) 概要版の対応する項目	反映の方向性等	
13	2	4	蕪木	7	地域活動等に興味ある若者は多いと思うが、気軽に参加できないことや知る機会が少ないこと等がハードルになっている。フェアが若者にとって参画の機会になるとよい。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進、(5) 広報宣伝	フェアをきっかけとして、これまで地域で活躍されている方々と、子どもたちや若者が出会い、新しいつながりを生み出す取組を進めることで、フェア後につながる持続可能な仕組みづくりを進めていきたいと考えております。
14	2	1	蕪木	7	各開催期間について、秋と春の川崎の魅力がわかるサブテーマを掲げるとよりよいだろう。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 2 基本的事項 > 3 開催期間	地域ごとの特色ある花や緑、文化などの地域資源を活かして、かわさきフェアを訪れる方々にわかりやすく、川崎の魅力が伝わるようなテーマを検討していきたいと考えております。
15	2	6	蕪木	7	駅から会場までの道のりが緑に導かれ、歩くのが楽しくて、フェア後も日常の景観として残るものになるとよい。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 3 会場構成 > (1) 会場構成等	かわさきフェアでは、市内全域を会場として捉え、各地域の特色を活かした取組を発信するとともに、駅前や駅から会場までの導線など、移動が楽しめる仕掛けを検討していきたいと考えております。
16	2	6	蕪木	7	各エリアをストーリーで繋ぐような、全てのエリアを回りたくなる工夫が出来たらよい。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 3 会場構成 > (1) 会場構成等	各会場で一体感を生み出し、市内を回遊いただけるような仕掛けを検討したいと考えております。
17	2	5	蕪木	7	各会場のコンセプトをキャッチーなものにして、子どもたちの心をつかむこと、川崎のイメージの変革につなげること。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 3 会場構成 > (1) 会場構成等	子どもたちを含め、かわさきフェアを訪れる方々にわかりやすく、各会場の特色や魅力が伝わるようなコンセプトを検討していきたいと考えております。

懇談会	意見分類	委員	議事録頁	意見概要	基本計画骨子(案)概要版の対応する項目	反映の方向性等	
18	2	6	萩原	8	3会場とその周辺を楽しめるマップがあるとよい。デジタル媒体で作れば、人の来訪や、商店の協力等、様々な動きに繋がるだろう。	第3章 かわさきフェア 行催事等 計画(骨子) > 4 事業計画 > (5) 広報宣伝	かわさきフェアでは、市内各会場だけでなく、会場までのアクセスや会場周辺の駅、商店街などと効果的に連携し、まち全体で一体感のあるフェアを目指したいと考えております。具体的には、デジタル媒体を取り入れるなど、会場だけでなく地域全体を楽しめるような仕掛けを検討してまいります。
19	2	4	萩原	8	大学生だけでなく、小中高校にもアプローチすれば親世代も巻き込めるため良いだろう。	第3章 かわさきフェア 行催事等 計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進、(5) 広報宣伝	子どもから大人まで、市民みんなで作り上げる市民総参加型のフェアを目指して、学校を含め、企業や地域団体等、川崎市で活躍している様々な団体と、早い段階から連携して取組を進めていきたいと考えております。
20	2	4	渡辺	8	協働・共創を実体化させることが重要。協働推進のもと川崎の新しい仕組みを作るのが「かわさきフェア」である。	第2章 かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりに向けた取組 > 3 かわさきフェア開催の基本理念に基づく取組方針 2	かわさきフェアを契機として、フェア開催以降につながる持続可能な協働・共創の仕組みづくりを進めるため、早い段階から、市民、企業、学校、地域団体等と目指すべき将来像を共有しながら、多様な主体と連携した、川崎ならではの新しい仕組みの構築に向けて検討を進めていきたいと考えております。

懇談会	意見分類	委員	議事録頁	意見概要	基本計画骨子(案)概要版の対応する項目	反映の方向性等	
21	2	11	渡辺	8	デジタルを戦略的にインフラにすることが重要。 デジタルを手段のみにとどめてはいけない。	第3章 かわさきフェア 行催事等 計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進	かわさきフェアを契機として、ICT などの先進技術を活用して、フェア開 催以降につながる川崎ならではの協働 の仕組みの構築に向けて、検討を進め ていきたいと考えております。
22	2	11	渡辺	9	資金面は行政だけでなく、協賛・協働パート ナー、事業パートナーを募る形にするのがよい。	第3章 かわさきフェア 行催事等 計画(骨子) > 4 事業計画 > (4) 会場運営	市内の企業、団体等に幅広く参加い ただき、また、主体的に取り組んでい ただくための多様な協賛・参加の形態 や仕掛けを検討していきたいと考えて おります。
23	2	2	渡辺	9	STEAMのようなボーダレスな考え方を取り入れ ることも必要。	第3章 かわさきフェア 行催事等 計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進、(2) 出展展 示	かわさきフェアを通して、本市の多 様なみどりと、先進技術や文化芸術な どの様々な分野と連携した取組を展開 し、実際に体験し、楽しみながら学ぶ ことのできるプログラムなどを検討し ていきたいと考えております。
24	2	2	長井	9	単発的なイベントで終わらせず、子ども達がみど りを考え、親しみながら育つ機会になるとよ い。	第2章 かわさきフェアを契機 としたみどりのまちづくりに向 けた取組 > 3 かわさきフェア開 催の基本理念に基づく取組方針 3	かわさきフェアを通して、子どもた ちが、自然に触れ、体験し、楽しみな がら、みどりの大切さを学ぶ機会を提 供し、地域の愛着を高め、みどりを大 切にする豊かな心を育む取組を展開し ていきたいと考えております。

懇談会	意見分類	委員	議事録頁	意見概要	基本計画骨子(案) 概要版の対応する項目	反映の方向性等	
25	2	4	長井	9	子どもがみどりに親しむ環境は、市内でも地域によって異なっており、例えば小杉地区は土や虫に触れる機会が極端に少ない。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進、(2) 出展展示	かわさきフェアをきっかけに、普段、自然に触れる機会が少ない子どもたちが、川崎の自然に触れ、体験し、楽しむ機会を提供したいと考えております。
26	2	4	長井	10	単発的なものにならないよう、子ども達にとって良い機会になるよう、教育課程にどう組み込むか等を考えたい。	第2章 かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりに向けた取組 > 3 かわさきフェア開催の基本理念に基づく取組方針 3	かわさきフェアを契機として、川崎の豊かな自然に触れ、みどりの大切さを育む緑育などの取組を進めるため、例えば、環境副読本など、教材としても活用できるような取組を検討していきたいと考えております。
27	2	11	田代	10	フェアで一人でも多くの市民が川崎の農業に触れ、都市農業を支えていくことに繋がるとよい。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進	かわさきフェアでは、川崎の農に触れ、楽しむ体験プログラムなども展開していきたいと考えており、そうした体験を通して、川崎の農業を知り、新しい担い手の確保につながるような取組を検討していきたいと考えております。

懇談会	意見分類	委員	議事録頁	意見概要	基本計画骨子(案)概要版の対応する項目	反映の方向性等	
28	2	8	田代	10	3月は通常、花を栽培していないため、栽培管理が必要。開催までに試験栽培を行う必要があり、フェアで用いる植物材料の種類や量などが具体的にわかるとよい。	第3章 かわさきフェア 行催事等 計画(骨子) > 4 事業計画 > (6) 植物調達	植物調達にあたっては、今年度策定した基本計画骨子に基づき、来年度、フェアの具体的な内容を検討していく中で、使用する花卉植物の種類や量を決めていく予定としております。フェアに向けた準備にあたっては、市内の生産者や造園業者、教育機関、企業等に御協力いただきながら、計画的かつ安定的な生産・供給体制を構築していきたいと考えております。
29	2	2	鈴木	11	緑の再編等の動きが市民の中にも定着してきていると思うので、引き続き取り組んでいきたい。	全般	かわさきフェアを契機として、市民一人ひとりが、それぞれの暮らしの中に、みどりを自発的に取り入れる、川崎の新しいみどりの文化を醸成し、まちの価値を高めていける取組を進めていきたいと考えております。
30	2	2	涌井	12	人間の生物としての感覚が衰えつつあり、バーチャルとリアルのバランスをとることが今後必要。生物としての感覚を取り戻すにあたり、一番アクセスしやすいのが花、緑、農、食など。	第2章 かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりに向けた取組 > 3 かわさきフェア開催の基本理念に基づく取組方針 3	かわさきフェアを契機として、市民に身近なことから取組をはじめ、実際に、みどりに触れ、親しむ機会を通して、人々の心を豊かにし、誰もが生きる喜びや幸せを感じられるような文化の創出につなげていきたいと考えております。

懇談会	意見分類	委員	議事録頁	意見概要	基本計画骨子(案)概要版の対応する項目	反映の方向性等	
31	2	2	涌井	12	創造性は本能と知性の良好なバランスから生まれる。これを子どものうちに形成することが大事で、自然に触れる入口としてフェアは非常に意味あるものと思う。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進	かわさきフェアをきっかけに、子どもたちが、川崎の自然を体感し、みどりに触れ、楽しみながら学ぶ機会を提供していきたいと考えております。
32	2	11	涌井	12	生物多様性や気候変動等の国際的な課題に対して、川崎市ができることを検討することや、NbS等を実装していくことが、かわさきフェアの使命でもあると考える。	第2章 かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりに向けた取組 > 3 かわさきフェア開催の基本理念に基づく取組方針 1	かわさきフェアを契機に、みどりをツールとして、これまで培ってきた川崎の強みを活かしながら、様々な課題の解決につながる取組を検討していきたいと考えております。
33	2	4	和城	13	われわれ大人と現代の子どもとは自然の捉え方が異なるだろう。将来の社会を形作ることになる若い世代の視点を取り入れられるとよい。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 5 推進体制	かわさきフェアの開催に向けて、来年度実行委員会を設置し、具体的な取組等を検討していく中で、幅広い世代の意見を取り入れながら取り組んでまいりたいと考えております。
34	2	11	長井	13	食や虫などのおおもとの概念として土が重要と考える。子どもが土に触れ合う機会が必要。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進	かわさきフェアをきっかけに、子どもたちが、川崎の自然を体感し、みどりに触れ、楽しみながら学ぶ機会を提供していきたいと考えております。

懇談会	意見分類	委員	議事録頁	意見概要	基本計画骨子(案)概要版の対応する項目	反映の方向性等	
35	2	4	長井	13	子どもへのアプローチとして、SDGsを入口にすることや、市内各校の既存の取組を整理することにより方向性が見えてくると考える。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進	かわさきフェアに向けて、子どもたちが主体的に参加できるような仕掛けを検討する中で、各学校で取り組まれている様々な活動と連携させていただきながら、機運醸成を図るとともに、子どもたちの参加促進につなげていきたいと考えております。
36	2	11	今井	14	現代の子どもは昔と比べて公園で遊ぶことが少なくなっている。もっと木に登ったり土を掘ったりして遊んでもらいたいと思う。	第3章 かわさきフェア 行催事等計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進	かわさきフェアをきっかけに、子どもたちが、川崎の自然を体感し、みどりに触れ、楽しみながら学ぶ機会を提供していきたいと考えております。
37	2	2	池田	14	かわさきフェア開催による効果(緑が増える、農に携わる人が増える、CO2が減る等)を定量化すれば、各種取組がどのように目標に繋がるかわかりやすくなるだろう。	第2章 かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりに向けた取組 > 2 取組姿勢・目指すべき将来像	かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりを進めるにあたっては、目指すべき将来像を市民、企業等のあらゆる主体と共有しながら取組を進めていくことが重要であると考えております。具体的な目標については、市民の皆様にわかりやすく、目標を共有しながら、一緒になって取り組めるよう、具体的な内容を検討していく中で整理してまいります。

懇談会	意見分類	委員	議事録頁	意見概要	基本計画骨子(案)概要版の対応する項目	反映の方向性等	
38	2	10	反町	15	コンテストやワークショップのような、一方通行ではない参加の仕方が必要。	第3章 かわさきフェア 行催事等 計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進、(3) 行催事	かわさきフェアでは、これまで培ってきた川崎の強みや魅力を、市民、企業、地域の活動団体等が主体となって発信するコンクールや、地域で活躍されている団体等の方々に御協力いただき、みんなで一緒になって作り上げる市民総参加型のフェアを目指して、検討を進めていきたいと考えています。
39	2	11	蕪木	15	特にそうした環境が近くにはない子ども達にとって、緑地や都市農地などに触れる機会になればよい。	第3章 かわさきフェア 行催事等 計画(骨子) > 4 事業計画 > (1) 協働推進	かわさきフェアをきっかけに、子どもたちが、川崎の自然を体験し、みどりに触れ、楽しみながら学ぶ機会を提供していきたいと考えております。